



## Press Information

VPR07-058  
2007年10月24日(水)  
フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

### フォルクスワーゲンのニュー スモール ファミリー「space up!」を 第40回 東京モーターショーにて世界初公開

フォルクスワーゲンは、本日千葉県千葉市の幕張メッセで開催されている第40回 東京モーターショーにて、デザインスタディ「space up!」を世界初公開しました。「space up!」は、本年9月にドイツ、フランクフルト国際モーターショー(IAA)でデビューを果たした「up!」(2ドア シティ スペシャリスト)に続く、フォルクスワーゲンの“new small family”コンセプトに基づく世界戦略モデルの第2弾です。

「ニュー スモール ファミリー コンセプトに対する欧州市場の反応を探るため、フランクフルトモーターショーでup!を世界初公開しました。市場の反応は予想を上回るものだったと言えるでしょう。」と、フォルクスワーゲン研究開発担当役員の Dr.ウルリヒ ハッケンベルクは述べています。「up!に続く第二のモデルが、今回ご紹介する space up!です。このマイクロバンによって、1 ミリたりともスペースを無駄にすることなく、感性に訴えかけるデザインを実現できることが証明されています。」

space up!は、全長はわずか3,680mm、全幅は1,630mmにもかかわらず、一回り大きな車両に匹敵する室内スペースを提供しています。space up!ならではの賢い空間コンセプトの実現には、エンジン レイアウトが大きく寄与しています。将来、up!ファミリーのパワーユニットとなるのは、環境に配慮したガソリン、ディーゼル、電気仕様の3種類。それらは、初代ビートルやマイクロバスのようにリヤに搭載される予定です。

space up!は、フランクフルトモーターショーでデビューしたup!よりも230mm全長が長く、これに伴いホイールベースも拡大(2,560mm)されています。また、高さはup!比40mm高となる1,540mmです。

up!は2ドアですが、space up!は4ドアです。あるいは6ドア、と言った方がより正確かもしれません。このマイクロバン、space up!にはクラシックなテールゲートは存在せず、その代わりリヤには観音開きのドアが採用されています。このドアを開けると、220~1,005 リットルのカーゴスペース、マルチバリアブル デザインに基づく4座のシート、そして非常に革新的なコックピットコンセプトが収められています。2つのセントラルディスプレイでは、3D グラフィクスと近接センサーを特徴とするタッチスクリーンを介して、さまざまな機能をコントロールすることができます。

量産バージョンのニュー スモール ファミリーの開発は、すでに始まっています。

「space up!」のプレスインフォメーション並びに写真は、以下のサイトからダウンロードが可能です。

<http://www.volkswagen-media-services.com> (VW AG プレスサイト)

User ID: space-up / Password: 10-2007

もしくは

<http://www.volkswagen-press.jp/tms2007> (VGJ プレスサイト)

VGJ プレスサイトでは、space up!の他にも日本初公開モデルを含む VW ブース全出展車の情報をご覧いただけます。